

一般質問 (要旨)

市政について問う



★…一問一答方式

- 1 伊藤 大輔 (民進党・市民フォーラム)**

 - ①子どもの貧困
 - ②防災計画
 - ③まちづくりとイベントの活性化
 - ④学校教育と地域人材の活用
- 2 安東 太郎 (たちかわ自民党・安進会)**

 - ①保育園の待機児童対策について
 - ②熊本地震を通しての防災対策について
 - ③学校給食費改定について
 - ④立川児童相談所の移転について
 - ⑤市史編さんについて
- 3 松本 あきひろ (たちかわ自民党・安進会)**

 - ①富士見町地域周辺のまちづくりについて
 - ②渋滞緩和施策について
- 4 谷山 きょう子 (立川・生活者ネットワーク) ★**

 - ①持続可能なまちづくりをしよう！
 - ②若葉町のまちづくりは市民参画型で、進めて行こう！
- 5 瀬 順弘 (公明党) ★**

 - ①地域公共交通について
 - ②無線LAN環境について
 - ③テニスコートの利用状況について
- 6 高口 靖彦 (公明党) ★**

 - ①防災・減災対策について
 - ②砂川地域のまちづくりについて
 - ③入札について
- 7 大石 ふみお (民進党・市民フォーラム)**

 - ①広域行政・連携について
 - ②ごみ対策について
- 8 大沢 純一 (公明党) ★**

 - ①自転車利用環境の整備について
 - ②防災対策について
- 9 中町 聡 (日本共産党) ★**

 - ①南口駅周辺のまちづくりについて
 - ②子どもの貧困について
 - ③立川市の公園について
- 10 若木 早苗 (日本共産党) ★**

 - ①米軍横田基地について
 - ②安心して利用できる介護制度について
 - ③若者の雇用支援について
- 11 江口 元気 (たちかわ自民党・安進会) ★**

 - ①人事について
 - ②南口のトイレの改修について
 - ③新しい教育体制について
 - ④輝く個店振興事業について
- 12 太田 光久 (民進党・市民フォーラム)**

 - ①福祉施策の推進について
- 13 門倉 正子 (公明党)**

 - ①子育てしやすい立川をめざして
 - ②特別支援教育の充実「一人ももれなく支援が受けられる体制を」
 - ③熱中症対策について
- 14 永元 須摩子 (日本共産党)**

 - ①教育行政について
 - ②学習館及び学習等供用施設の改修について
 - ③図書館行政について
 - ④障がい者への支援策について
- 15 福島 正美 (公明党) ★**

 - ①たちかわ創生総合戦略について
 - ②文化・芸術の花開くまちづくりについて
 - ③図書館行政について
 - ④障がい者への支援策について
- 16 伊藤 幸秀 (公明党)**

 - ①障がい者支援について
 - ②入札制度について
 - ③立川駅北口周辺の公園について
 - ④第五小学校について
 - ⑤平和学習の推進について
- 17 浅川 修一 (日本共産党) ★**

 - ①保育園の待機児解消について
- 18 中山 ひと美 (たちかわ自民党・安進会)**

 - ②第一中学校校庭の照明塔が傾いた件について
 - ③行財政問題について
- 19 山本 みちよ (公明党) ★**

 - ①「食品ロス」ゼロに向けての対策について
 - ②空き家対策の推進について
 - ③「チーム学校」について
- 20 上條 彰一 (日本共産党) ★**

 - ①市民の命と安全を守る防災対策の強化について
 - ②「住まいは人権」と言える住宅政策の実現について
- 21 佐藤 寿宏 (たちかわ自民党・安進会)**


 - ①食の安全について
 - ②高額医療費について
 - ③ごみ再資源化装置実証機導入について
- 22 松本 まき (民進党・市民フォーラム)**

 - ①災害が起きた場合の障がい者への対応について
 - ②自治会等の法人化について
- 23 稲橋 ゆみ子 (立川・生活者ネットワーク) ★**

 - ①市民協働における情報公開、市民参画のあり方について
 - ②災害時の水の確保について
 - ③公共施設の部屋の活用について
 - ④若者支援について
- 24 大沢 豊 (緑たちかわ) ★**

 - ①生活困窮者自立支援法実施から1年
 - ②生活保護費削減の状況について
 - ③熊本地震支援から見えて来るもの
 - ④福島からの避難者支援について
 - ⑤居住支援協議会について


市長公約実現に向けた待機児童対策は
北部西地域を中心に施設整備に取り組む
安東 太郎 (たちかわ自民党・安進会)



問 子育て世代は、市長の取り組みに注目しています。市民のニーズは、認可保育園に入りたいというものが、目に見える具体的な取り組みを望んでいます。市長公約実現に向けた対策をお示ください。また、予算特別委員会で保護者の方々のためにも、第一次入園結果の時期をもう少し早くできないかと質問し、今後、少しでも早く結果を出せるように日程を検討したいとのことでしたが、その後の検討状況を伺います。

答 現在公約である待機児ゼロを目標とし、受け入れ枠の拡大に鋭意取り組んでいます。平成28年度は、認可保育園を2園新設するとともに、民営化した保育園の改築、認証保育所の拡充などにより、現時点で160人の受け入れ枠の増を確保しました。今後、待機児童の多い北部西地域を中心に施設を整備し、公約の実現に取り組みます。また、来年4月の入所の結果通知時期は、3日早め2月16日を予定しています。


「子どもの貧困」の実態把握に着手を
先進事例の調査研究を行う
伊藤 大輔 (民進党・市民フォーラム)



問 市は、子どもの学力や体力向上に取り組んでいます。家庭の経済力と学力の相関関係を示すデータは、確率として親の年収が低いほど不利な環境にあることを示しています。こうした環境を根本的に改善するためには、都の指示を待つだけでなく、テスト結果の順位を競うだけでなく、国や都との連携や先に動き出している自治体と広域的に協力し、市が自ら子ども達がおかれている生活環境自体の把握と調査に着手すべきです。

答 子どもの貧困対策法の施行に伴い、国のスキームに沿って対策が全国的に進められています。子ども達の貧困の実態調査については、国が創設した地域子ども未来応援交付金の対象事業となっており、今後、他の市の動向を注視しつつ、先進事例の調査研究を行います。また、都に対しては東京都市長会を通じて平成29年度予算要望において、子どもの貧困対策法に基づく都道府県計画を策定するよう要望する予定となっています。


市民参画型で若葉町のまちづくりをするべき
地域全体を見据えた検討を行っていく
谷山 きょう子 (立川・生活者ネットワーク)



問 けやき台小学校と若葉小学校の統合とけやき台小学校敷地内の新校舎建設の決定では、若葉町地域の反対住民や意見表明をしていない住民との合意形成に疑問があります。今後の若葉町のまちづくりでは第4次長期総合計画にもあるように、十分な情報提供を行い、市民との協働や地域住民の合意形成によるまちづくりをするべきです。若葉町地域の10年後を見据えた広い視野での持続可能なまちづくりについて見解を伺います。

答 若葉町のまちづくりについては、都市計画道路の整備、清掃工場の移転、けやき台小学校と若葉小学校の統合など、今後、大きな動きが見込まれています。こうした中で、地域の特性を踏まえたまちづくりを進めるためには、総合的な視点で計画的なマネジメントを行う必要があると認識しています。市民の理解と協力を得ながら、施設ごとの検討とともに、地域全体を見据えた検討を行っていきたいと考えます。

立3・1・34号中央南北線南進について
都に早期事業着手を要請
松本 あきひろ (たちかわ自民党・安進会)



問 立3・1・34号中央南北線は東京都の事業ですが、富士見町地域の長年の課題となっています。その取り組みについて市の見解を伺います。また、富士見町二丁目36番の国有地は地域が目玉する約4ヘクタールの広大な土地ですが、今後の展望に対する市の理解と位置づけ、利用形態やその経過等をお示しください。また、昭和記念公園の南側に隣接することから、回遊性等を考え有効活用すべきだと考えます。

答 立3・1・34号中央南北線は東京における都市計画道路の整備方針(第四次事業化計画)の中で、優先整備路線と位置づけられました。都に早期事業着手を要請します。また、本国有地については平成20年、利用計画を策定し国に提出しており、この中では民間利用としており、この中では街区区域への編入及び土地処分方法など国等と協議を行います。また土地処分分までは、駐車場利用やイベントを含めた暫定的な活用について検討します。